

令和6年度 第3回西新宿スマートシティ協議会

2025年3月28日（金）14:00～15:00



議事次第

1. 開会の挨拶
2. 協議会参加者の紹介
3. 今年度の取組スケジュール
4. 令和6年度・第2回協議会の意見に対する対応
5. 各部会の活動成果報告
 - 5-1. スマートサービス実装部会
 - 5-2. 広報・コミュニティ部会
 - 5-3. データ利活用部会
6. 次年度方針の共有
7. 質疑応答および意見交換
8. 閉会の挨拶

1. 開会の挨拶

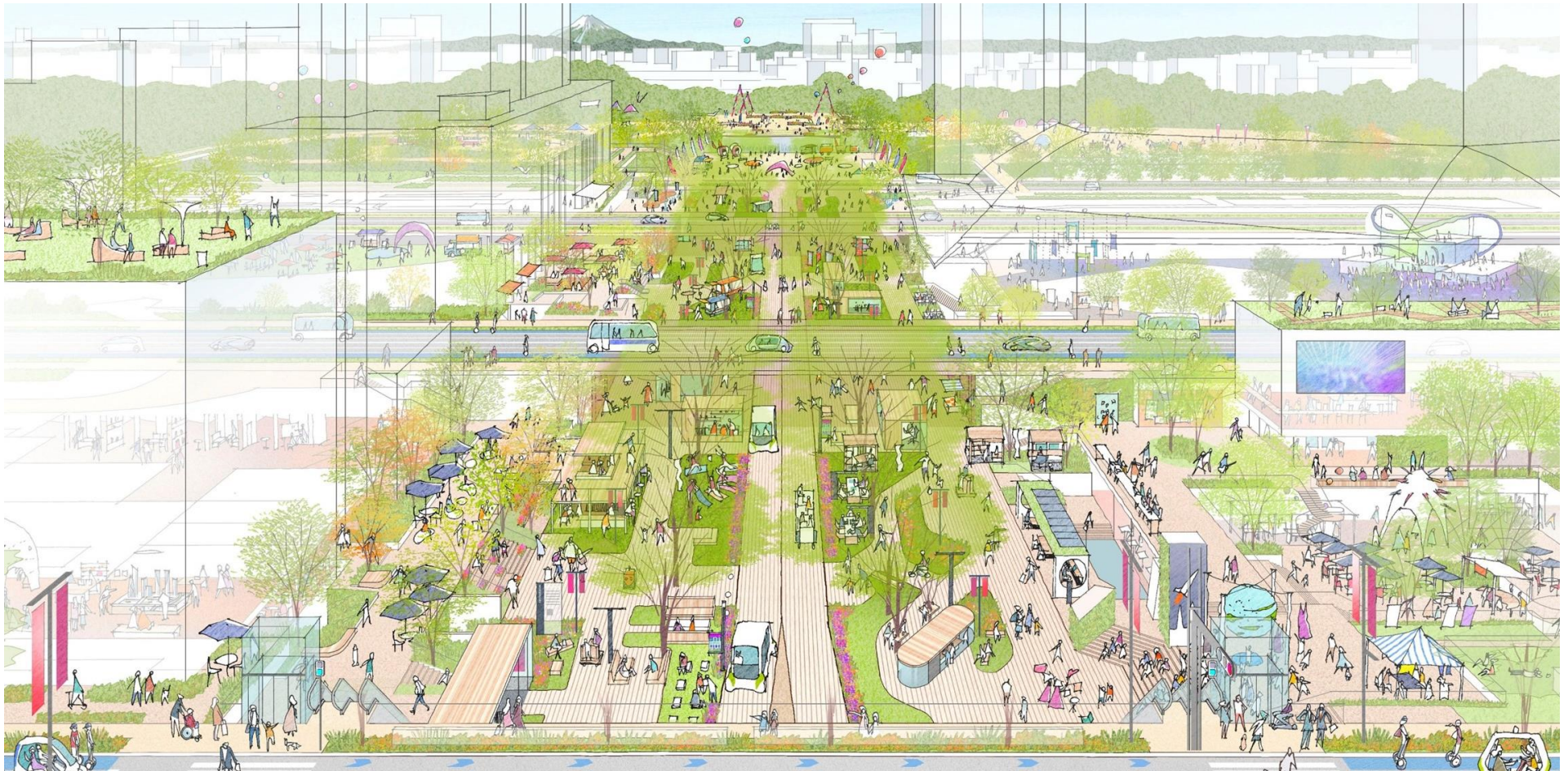
2. 協議会参加者の紹介

3.今年度の取組スケジュール

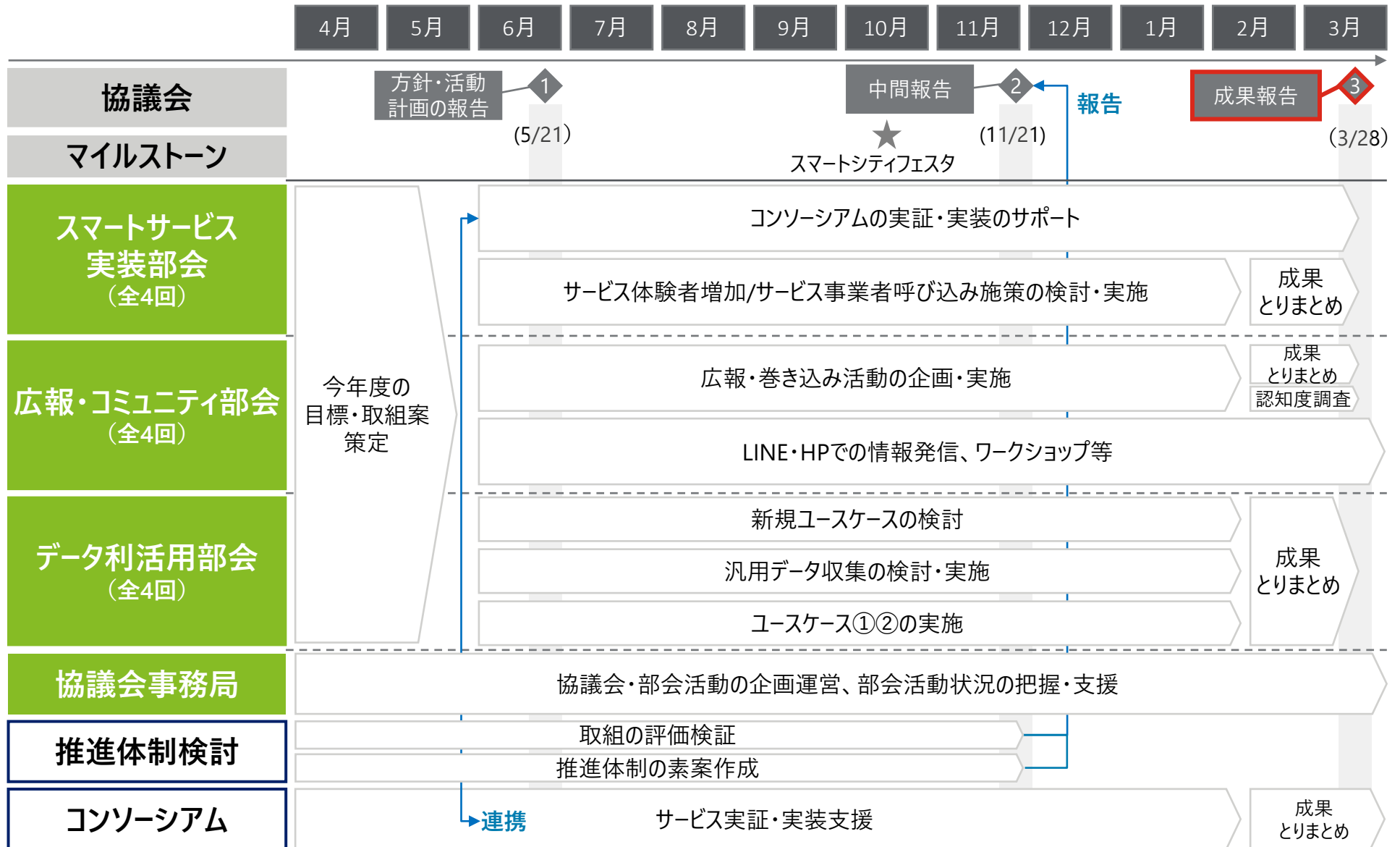
取組の方向性 | 西新宿スマートシティ協議会

【重点分野ごとの目標】

- ① まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの着実な実装
- ② 多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実
- ③ エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進



令和6年度協議会年間スケジュール



4.令和6年度・第2回協議会の意見に対する対応

令和6年度 第2回協議会（11/21）の主なコメント

報告事項に対する主なコメント

巻き込み活動

- 広報・コミュニティ部会で「西新宿エリアの他の地域コミュニティ」と連携していければよい。巻き込み活動をする中で、関与するコミュニティが増えると積極的に参加してくれる人が増えるのではないかな。

（コメントを踏まえた対応）

LINEコミュニティへの参加を促進するためには、西新宿のコミュニティとの連携を強化する必要がある。また、近年連携するコミュニティも増えてきているため、部会内で継続する。

（取組実績）

パークマルシェ@新宿中央公園への出展、キャンドルナイトとの連携

将来イメージの共有

- 各部会の数値を達成すると、どうなるのかイメージを共有できることが大事だと考える。現在は数値を達成して、西新宿がどうなるかわかりにくい。
- 東京全体に展開していくことも重要ではあるが、西新宿らしさ・良さを認識し西新宿に根差した取り組みを実施いただけるようにして欲しい。

（コメントを踏まえた対応）

地域で一体となって取り組むことが西新宿らしさと考えており、西新宿のまちがどのように変わっていくか部会メンバーと共有していくことは重要だと考える。

（取組実績）

西新宿の再整備方針ガイドラインを基に部会メンバーに共有

5.各部会の活動成果報告

5-1.スマートサービス実装部会

5-2.広報・コミュニティ部会

5-3.データ利活用部会

令和6年度の成果報告 | スマートサービス実装部会

目標

まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの着実な実装

KGI

目標値達成

スマートサービスの体験者数（年間）

R6目標

141,000人

R6成果（3月28日時点）

201,704人

今年度実施した取組

- ✓ コンソーシアム各分科会の都民向け体験機会の創出
- ✓ スマートシティフェスタへの出展
- ✓ 自動運転モビリティの毎週運行（11月）

KPI

目標値
達成西新宿で取り組んでいる
スマートサービス数

R6目標

18件

R6成果（3月28日時点）

18件

今年度実施した取組

- ✓ シーズニーズマッチング
- ✓ 構成員ヒアリング

KPI

目標値
達成西新宿でスマートシティの取組に
参画している企業・団体数

R6目標

120者

R6成果（3月28日時点）

120者

今年度実施した取組

- ✓ 分科会活動に新規事業者を勧誘
- ✓ スマートシティ関連イベントにおける勧誘

スマートサービス実装部会のKGI達成に向けた取組（1/3）

協議会

自動運転モビリティ_環境改善委員会



期間	24年11月～25年3月（毎週）
場所	新宿駅西口出発・西新宿各所7か所
概要	西新宿エリアの魅力を高める新たなモビリティをテーマとして、好きな降車場所を選択して乗車体験が可能

コンソーシアム

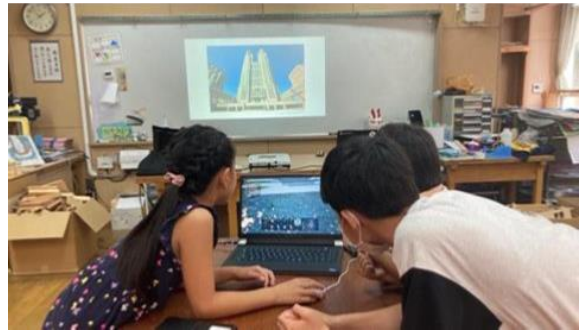
XRコンテンツ制作・提供_小田急電鉄



期間	通年
場所	NEUUなどの西新宿各所
概要	XR施設運営やXR技術を活用した様々なユースケースを実施

コンソーシアム

シン・デジタルツイン_大成建設



期間	24年6月・12月、25年1～2月
場所	スマートシティフェスタ、西新宿小学校
概要	防災やまちづくりのシミュレーション、市民参加の取組に活用

スマートサービス実装部会のKGI達成に向けた取組（2/3）

コンソーシアム

屋内・屋外自動配送ロボット_川崎重工業



期間	24年8月～9月、25年2月～3月
場所	大学病院や都民広場、4号街路等
概要	屋内外の自動配送ロボットの走行実証を実施

コンソーシアム

乗換案内「西新宿モード」_ジョルダン



期間	通年
場所	乗換案内「西新宿モード」アプリ内
概要	AIコンシェルジュやユニバーサルルートの機能を開発

コンソーシアム

ロボット清掃・警備サービス_Octa Robotics

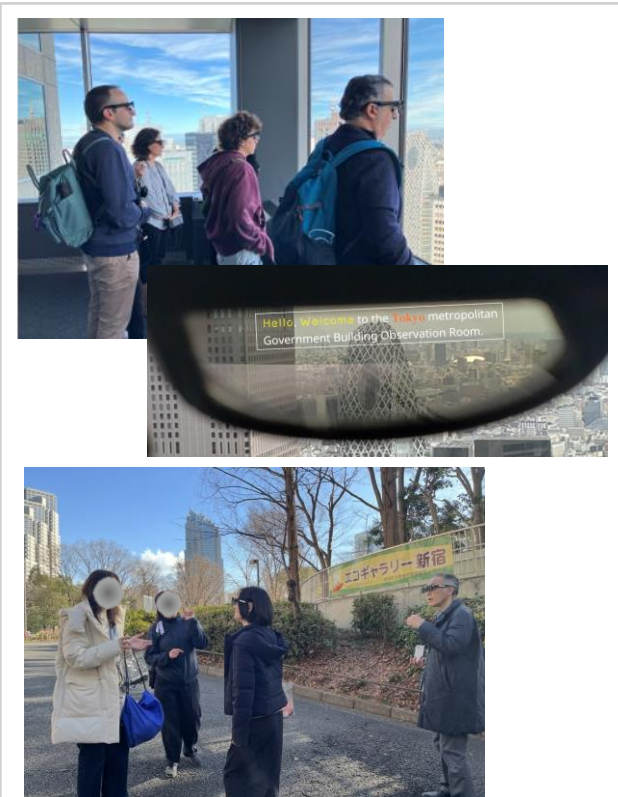


期間	24年7月、12月～25年3月
場所	西新宿の高層ビル
概要	高層ビルへの導入に向けロボット走行（連携）実証を実施

スマートサービス実装部会のKGI達成に向けた取組（3/3）

コンソーシアム

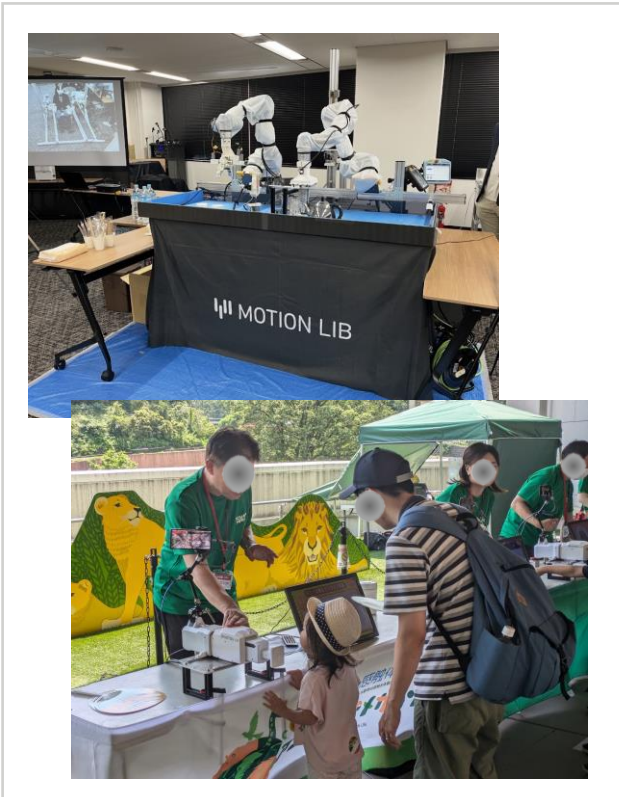
ユニバーサルコミュニケーションアプリ_大日本印刷



期間	24年9月・10月、25年2月
場所	都庁展望台、新宿中央公園
概要	訪日外国人および聴覚障がい者向けに「字幕表示メガネ」の体験会を実施

コンソーシアム

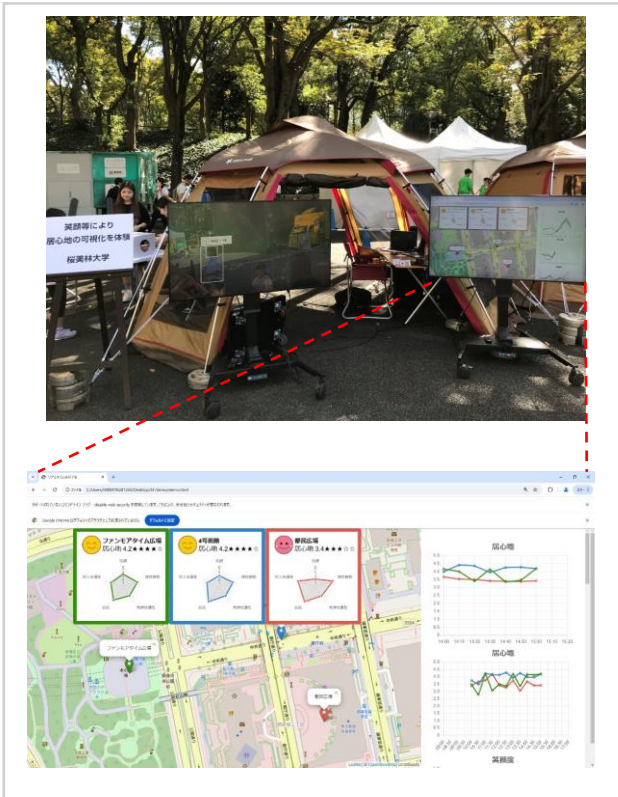
感触動物園・共に働く未来カフェ_モーションリブ



期間	24年7月、25年2月
場所	多摩動物公園、西新宿エリア
概要	リアルハプティクス（感触制御技術）を活用したユースケースを2種実証

コンソーシアム

居心地推定モデル_桜美林大学



期間	24年10月
場所	西新宿各所（スマートシティフェスタ等）
概要	様々なデータを用いて、ある空間の居心地の良さを推定するモデルを構築

5-1.スマートサービス実装部会

5-2.広報・コミュニティ部会

5-3.データ利活用部会

令和6年度の成果報告 | 広報・コミュニティ部会

目標

多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実

KGI

目標値達成

コミュニティ活動に参加している人数（年間）

R6目標

900人

R6成果（3月28日時点）

1,165人

今年度実施した取組

- ✓ 居心地いいな空間に関する意見収集
- ✓ 自動運転モビリティに関する意見収集
- ✓ 西新宿小学校との連携
- ✓ LINEでのアンケート調査

KPI

目標値達成

コミュニティメンバー数（LINE友だち数・累計）

R6目標

2,000人

R6成果（3月28日時点）

2,234人（4月時点・1,511人）

今年度実施した取組

- ✓ スマートシティフェスタでの出展
- ✓ 西新宿の地域イベントでの名刺カード配布
- ✓ 自動運転モビリティアカウントとの統合・乗車予約連携

KGI・KPI達成に向けた取組

LINEでの意見募集やワークショップでは多くの方々にご参加いただいた
また、地域の巻き込み活動により、LINEコミュニティのメンバー登録を促進することができた

KGI

双方向コミュニケーション（意見収集および反映）

- ✓ 西新宿の居心地いいな空間に関するアンケート・ワークショップ・投票を実施し、スマートシティフェスタにて反映
- ✓ 自動運転モビリティのルートに関するアンケート・投票を実施し、11月からの走行に反映
- ✓ 西新宿小学校の5年生向けにワークショップを開催し、描画していただいた絵でクリアファイルを制作・自動運転の車体に反映



居心地いいな空間



自動運転モビリティイメージ



西新宿小学校5年生



ラッピングをした自動運転車

KPI

コミュニティメンバー登録促進

- ✓ スマートシティフェスタでの協議会ブース出展
- ✓ 自動運転モビリティアカウントとの統合・乗車予約連携
- ✓ 新宿中央公園のパークマルシェでの周知
- ✓ Candle Night@Shinjuku Central Parkでの周知



SHUKNOVA・パークマルシェ

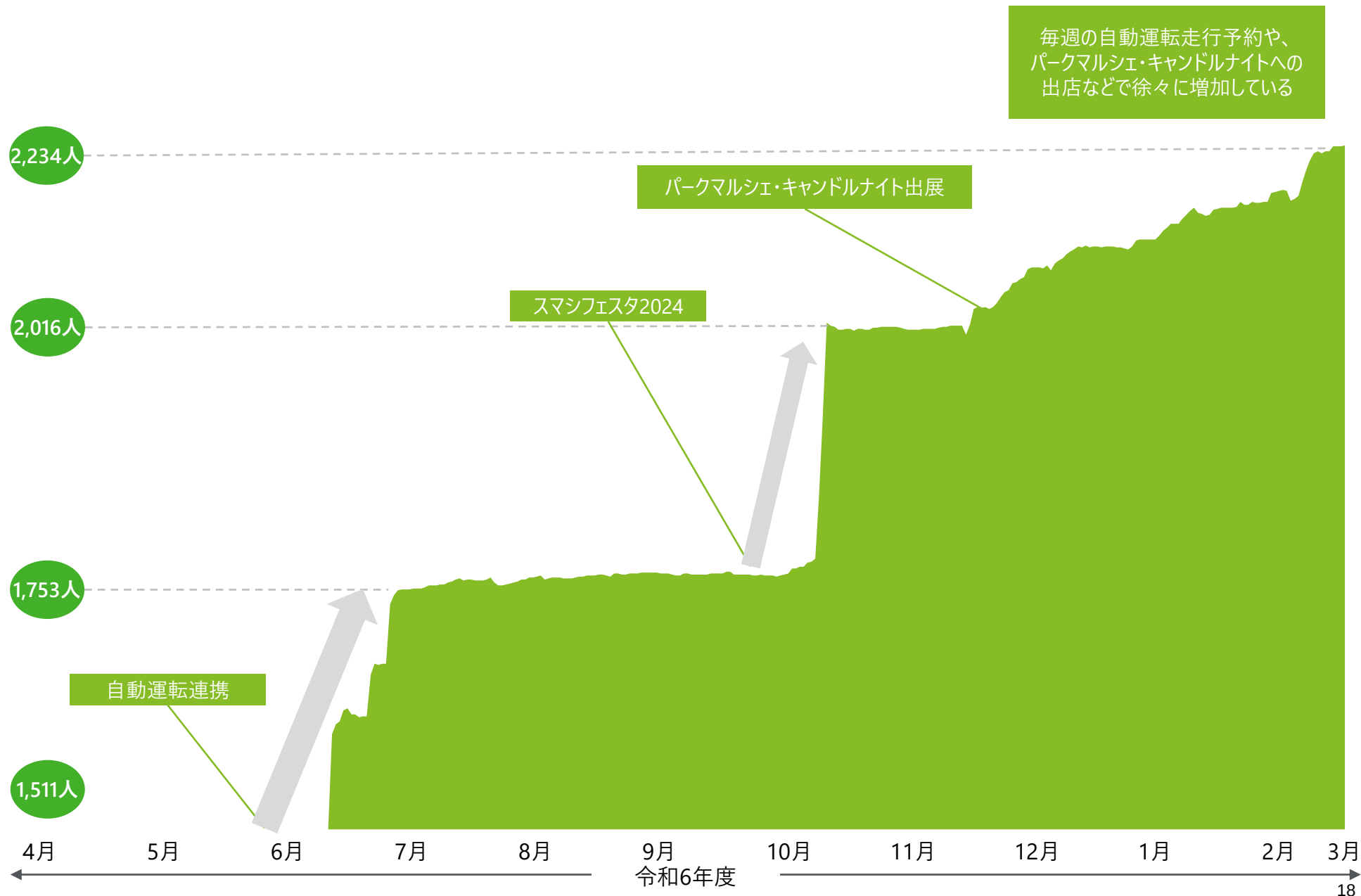


キャンドルナイトイベント

(参考)協議会コミュニティのメンバー数_令和6年4月～令和7年3月

凡例：人数

x人



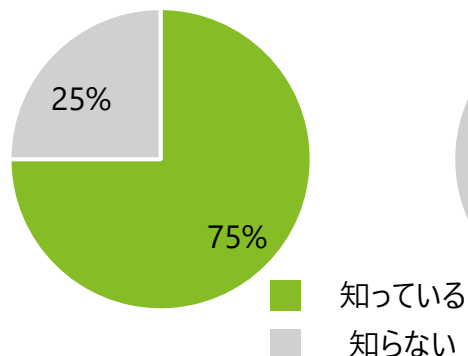
コミュニティに関するアンケート結果概要

アンケート結果をもとに、コミュニティ運営及びコミュニティ活動のニーズを反映していく

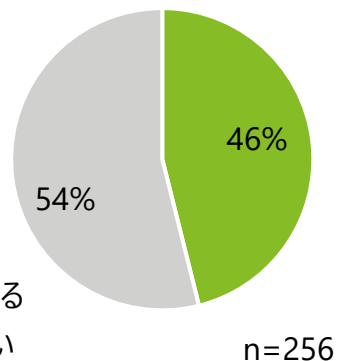
結果概要

協議会・コミュニティ活動の認知度

協議会の認知度

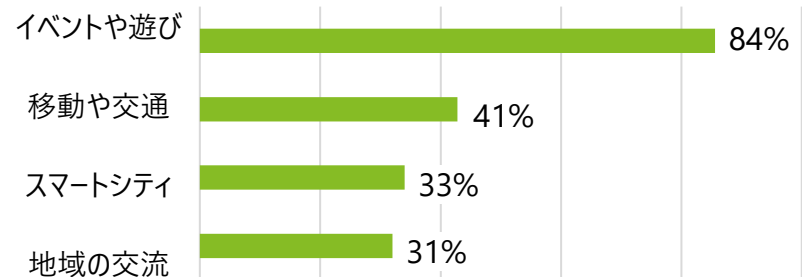


LINEコミュニティの認知度



- ✓ 協議会の認知度と比べて、LINEコミュニティの認知度が低い

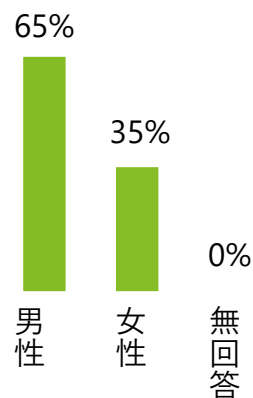
LINEコミュニティで知りたい情報



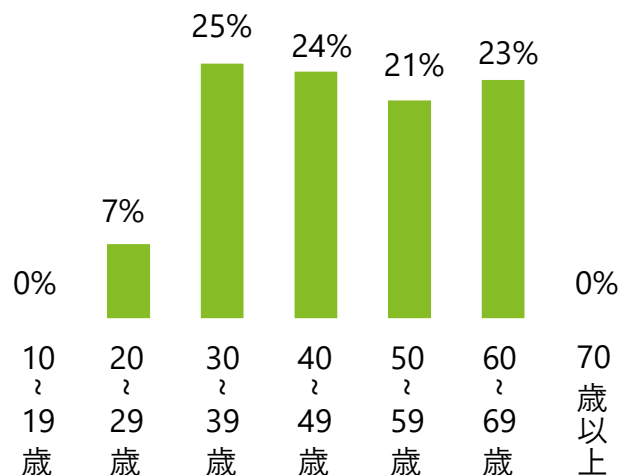
n=256

- ✓ 西新宿のイベントや遊びの情報のニーズが最も高い

性別

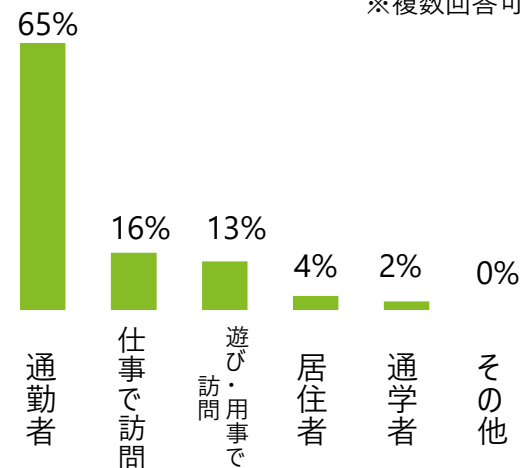


年代



西新宿との関係

※複数回答可



5-1.スマートサービス実装部会

5-2.広報・コミュニティ部会

5-3.データ利活用部会

令和6年度の進捗共有 | データ利活用部会

目標

エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進

KGI

目標値達成

サービス事業者や他エリアのデータ連携PFへの提供データセル数

R6目標

6,400件

R6成果（3月28日時点）

16,219件

提供したデータ

- ✓ スマートシティフェスタの情報
- ✓ 居心地いい空間アンケート結果
- ✓ 都庁アートのワークの情報
- ✓ 西新宿のニーズ把握アンケートなど

KPI

目標値達成

収集したデータセル数（公開可否は不問）

R6目標

15,000件

R6成果（3月28日時点）

29,019件

収集したデータ

- ✓ R6年度イベント情報
（西新宿のイベント情報）
- ✓ 協議会主催のアンケートデータ
- ✓ データヒアリング
- ✓ コンソーシアム実証情報 など

ユースケース①：オープンスペース利活用・イベントティア

今年度の活動

▶今年度の取組：西新宿イベントマップの作成

西新宿エリアのランドマーク的施設のイベント及びスポット情報を収集し西新宿イベントマップを構築

次年度以降の活動

▶西新宿イベントマップの最適化

居住者、通勤者、通学者、来訪者（訪日外国人含む）等、西新宿にいる人のニーズを把握して反映

▶西新宿エリアのオープンスペースの可視化

オープンスペースの情報集約、地図による可視化

▶デジタルを活用した災害時における 情報共有の仕組み作り（西新宿エリア）

平時と災害時どちらも同じプラットフォームで運用可能な、災害情報共有の仕組みづくりを検討

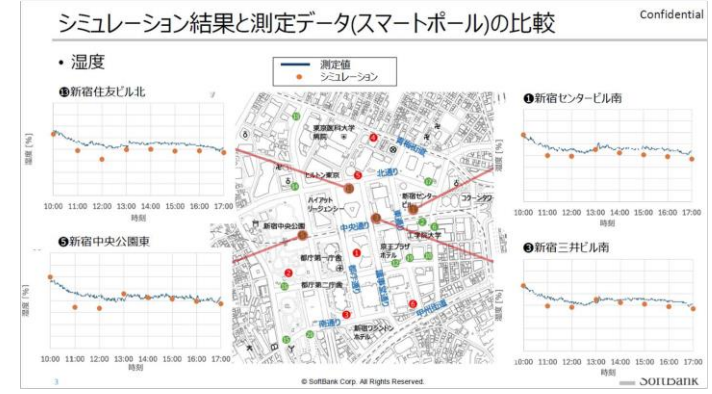
イベントティアを活用した 「つながる」まちづくり
いつ、どこで、なにが、を見える化し、
人と人、都市と人をつなげる。



ユースケース②：スマートポールデータの提供実績

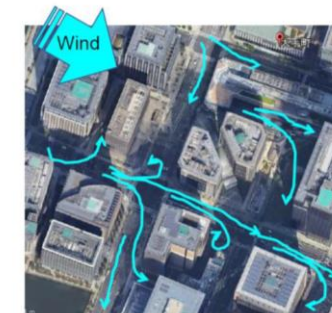
①SoftBankへの人流・気象データ提供

- SoftBankでは西新宿の街区における環境データを取得し、暑熱環境下における歩行者の快適性のシミュレーションを実施
- スマートポールデータ（人流・気象）との比較を行いシミュレーションモデルの精度評価を実施することを目的としている



②東京科学大学（稲垣研究室）への気象データ提供

- 東京科学大学（稲垣研究室）ではリアルタイムの暴風被害予測を目的に、都市地表面付近の風を診断するシミュレーションモデルを開発
- スマートポールデータ（気象）との比較を行いシミュレーションモデルの精度評価を実施することを目的としている

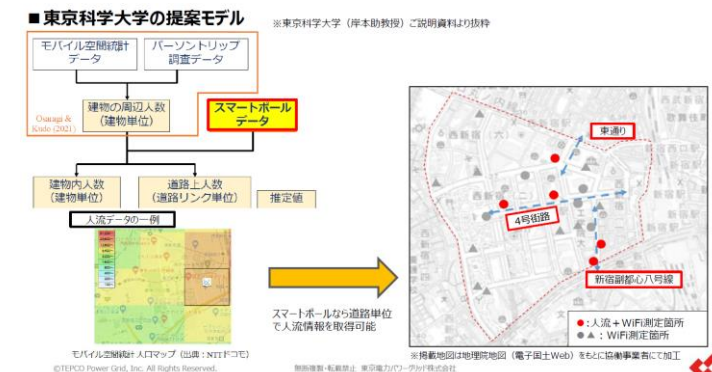


Airflow in urban district

※東京科学大学稲垣さまご説明資料より抜粋

③東京科学大学（岸本研究室）への人流・Wi-Fiデータ提供

- 東京科学大学（岸本研究室）では、IoT技術によって得られる都市センシングデータを都市防災計画に活用する方法を検討
- スマートポールの人流・Wi-Fiデータを用いて大地震発生時における帰宅行動シミュレーションの検証を目的としている

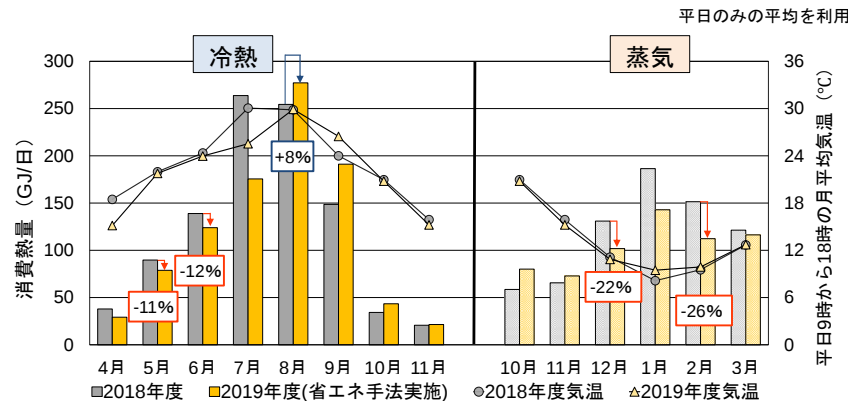


ユースケース③：スマートエネルギープロジェクト

今年度の活動

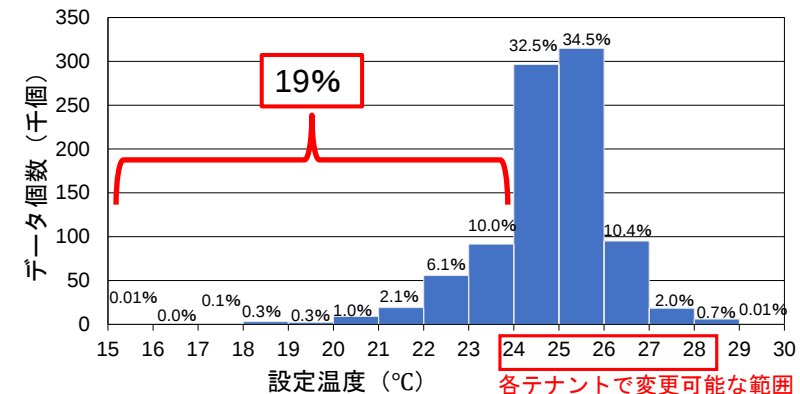
1. 都庁舎における省エネ対策に関するヒアリング
2. 民間ビルへのヒアリング・民間ビルから提供を受けたデータ分析結果（今回報告）

図1. 空調省エネトライアル時の熱使用量変化



某ビルAにおける空調設定温度の変更トライアル実施時のデータ結果より、冷房はピークを外した時期において、暖房は全般において、設定温度変更により一定程度の省エネ効果が得られることがわかった。※冷房：5・6月は10% 暖房：期間を通して20%の削減効果

図2. 冷房設定温度実績



某ビルBにおいて、夏期3か月の平日について1時間ごとの空調設定温度の実績から、24度を下回る設定温度の頻度が19%存在することが分かった。必要以上に低い室温で空調されているのであれば、省エネポテンシャルとなる可能性がある

3. テナントレベルの省エネ行動調査（今回報告）

省エネ意識に関して53名の方からアンケートを回収。個々の省エネ意識は高いものの、組織的な取り組みとするためには、具体的な効果の提示、インセンティブの設定等が必要との意見あり。作業環境に関しては、建物によっては、空調が効きすぎていると感じている執務者が多い事例も見られた。

次年度以降の活動

- 都庁舎の取り組み、3ビルのヒアリング結果と受領データから需給連携の要素技術となり得る事項を抽出。
- 執務者レベル、テナントレベルの省エネの取り組みを促す仕組みの検討、試行。

6. 次年度方針の共有

令和7年度の方針 | 協議会

令和7年度からスマートサービス実装部会の企画・運営をエリマネ主体で実施予定

目標

まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの在り方を検討し、
（仮称）西新宿地区再整備推進検討会と連携していく

協議会

✓ 情報共有・方向性を確認する

スマートサービス実装部会

✓ 西新宿エリアで実装したいサービスを検討し、実装を促す
（コンソーシアム・展開支援事業と連携）

広報・コミュニティ部会

✓ 協議会の認知度を上げるとともに、西新宿の方々との共創
を活発化する

データ利活用部会

✓ データ利活用促進に向けた方針整理や課題の解消を行う

- 西新宿スマートシティ協議会として、東京都と環境改善委員会が連携し、デジタル関連の検討を実施
- まちに実装が期待されるスマートサービスやデータの利活用について、（仮称）西新宿地区再整備推進検討会と連携

7. 質疑応答および意見交換

8. 閉会の挨拶